

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
鹿児島県知事 殿	
2025年 6月 23日	
提出者	
住所	鹿児島県阿久根市塩浜町1丁目10番地
氏名	株式会社阿久根食肉流通センター 代表取締役社長 黒木 重孝 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0996-64-6336	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社阿久根食肉流通センター
事業場の所在地	鹿児島県阿久根市塩浜町1丁目10番地
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	05 製造業
② 事業の規模	令和6年度売上高 236億6,463万円
③ 従業員数	13人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①排水処理施設→脱水汚泥(収集運搬・堆肥化を委託) ②排水処理施設スクリーン装置→動物性固形不要物(収集運搬・堆肥化を委託) ③排水処理施設→未脱水汚泥(収集運搬・堆肥化を委託) ④焼却炉→燃え殻(収集運搬・最終埋立処分) ⑤廃油→(収集運搬・燃料として再資源化) ⑥廃プラ→(収集運搬・再資源化)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
㈱阿久根食肉流通センター 代表取締役 ↓ 取締役業務管理部長 ↓ 営繕設備管理課9名、守衛2名			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) ①浄化槽の運転管理の徹底 ・調整槽・加圧浮上槽の清掃実施 ・調整槽エアース散気管を交換し、汚水の腐敗防止 ②工場内水道使用の節水呼びかけによる浄化槽負荷の低減 ③工場内で使用している洗剤・消毒剤の濃度適正化による負荷低減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) ①浄化槽の運転管理の徹底 ・汚泥槽専用の曝気ブローワーを設置し、曝気槽のエアーマ管理を適正化 ・加圧浮上槽・原水槽・側溝の定期的な清掃により、汚水負荷の低減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①焼却灰・・・焼却炉から出る灰を、コンポストへ適切に投入・保管・搬出 ②汚泥・・・浄化槽から発生する汚泥を脱水し、ホッパーに保管し、毎日専用トラックにて搬出・運搬 ③動物性残渣・・・浄化槽入口に大きい残渣用スクリーン(5mm)と細かい残渣用スクリーン(0.75mm)にて排水中の残渣を的確に除去し、専用容器にて保管・搬出 ④廃油・・・機械のオイル交換で出る廃油を、回収業者が持ち込んだ専用容器にて保管し・業者が回収 ⑤廃プラ・・・工場から出たまな板・プラ容器などを、回収業者が持ち込んだ専用容器に保管し業者が回収		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) ・営業マン・収集担当者、廃棄物の回収曜日・時間・量など連絡を取り、収集運搬に問題が無いように取り組み実施 ・処分場の状況について情報共有を行い、排出量の安定化・適正化への取り組み実施 ・汚泥搬出に関しては、常時搬出する業者と浄化槽の状態により追加で搬出する業者の2社と契約し、浄化槽の運転が安定稼働するように、連絡を取りながら委託を行う。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に無し(現状の連絡・報告・相談を適切に行える良い関係を運搬・処分会社と維持する)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物 処理計画書 内訳書

令和7年度分

事業場名	株式会社阿久根食肉流通センター
------	-----------------

別紙
数字(t)

※取り扱う廃棄物の種類が1種類であっても、この表を作成してください。

廃棄物の種類	廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分		産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	①現状(前年度実績)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度実績)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)		②計画(今年度計画)		①現状(前年度実績)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)					②計画(現年度計画)				
	排出量	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分を行った量	自ら埋立処分を行う量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	(左記内訳)再生利用業者へ委託する量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量
1	燃え殻		10.00													10.00				
2	汚泥	2,164.52	2,078.10								2,164.52		2,164.52			2,078.10		2,078.10		
3	廃油	0.60	0.60								0.60		0.60			0.60		0.60		
4	廃酸																			
5	廃アルカリ																			
6	廃プラスチック類	2.69	2.50								2.69		2.69			2.50		2.50		
7	紙くず																			
8	木くず																			
9	繊維くず																			
10	動植物性残さ	486.04	478.98								486.04		486.04			478.98		478.98		
11	動物系固形不要物																			
12	ゴムくず																			
13	金属くず																			
14	ガラス・プラスチック・紙くず及び陶磁器くず																			
15	缶蓋																			
16	がれき類																			
17	動物のふん尿																			
18	動物の死体																			
19	ばいじん																			
20	その他																			
21	混合廃棄物																			
22	廃石綿(特管)																			
23	石綿含産業廃棄物																			
合計		2,653.85	2,570.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2,653.85	0.00	2,653.85	0.00	0.00	2,570.18	0.00	2,560.18	0.00	0.00

【事業者のみなさまへ】

・各廃棄物の種類について、色付けセルの数値記入部分のみ入力してください。入力可能箇所以外のセルは保護をかけています。(どの種類に含まれるかわからない場合は、廃棄物・リサイクル対策課までお問い合わせください。)